

English Linguistics 第 40 巻からの年 1 号化と投稿方法のオンライン化について

2021 年 7 月 31 日

日本英語学会編集委員会

第 82 回の理事会において、2023 年度刊行の *English Linguistics* 第 40 巻から、年 1 回の刊行 (年 1 号化) とすることが決定されました。同時に投稿方法のオンライン化を推進することも決定され、早ければ第 40 巻から新しい投稿システムに移行する予定です。これら決定の背後には、昨今の一般論文投稿数の減少傾向、投稿論文改訂期間の長期化傾向、多忙を極める編集業務、日本英語学会の財政状況等、*English Linguistics* を取り巻く諸々の状況を改善する目的があります。

年 1 号化と投稿方法のオンライン化への円滑な移行の実現に向けて、同理事会において編集委員会内に作業チームを設けることも決定されました。メンバーは、岡崎正男第 19 期編集委員長、岡田禎之第 19 期編集副委員長、加賀信広理事、中村編集委員会書記、戸澤編集委員会書記、今野編集委員会書記 (2021 年 9 月 30 日まで)、五十嵐編集委員会書記 (2021 年 9 月 30 日まで) です。現在この作業チームで、投稿規定、刊行時期、投稿締め切り日、投稿方法等について検討を重ねており、今年の 12 月頃には具体的な内容について会員の皆様に学会 HP を通してご案内できる予定です。

なお、*English Linguistics* 第 39 巻までは、従来の投稿スケジュールと投稿方法で年 2 回刊行されます。第 39 巻 1 号の投稿締め切りは 2021 年 9 月 20 日、第 39 巻 2 号の投稿締め切りは 2022 年 4 月 1 日です。

今回の *English Linguistics* の刊行回数および投稿方法の変更につきまして、会員の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。